

近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署 ひろほく通信

多様な森林づくりと国有林材の安定供給

広島北部森林管理署では、森林資源の循環利用を図りつつ、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収など公益的機能の一層の発揮に向け、自然条件等に応じた多様な森林づくりに取り組むこととしています。

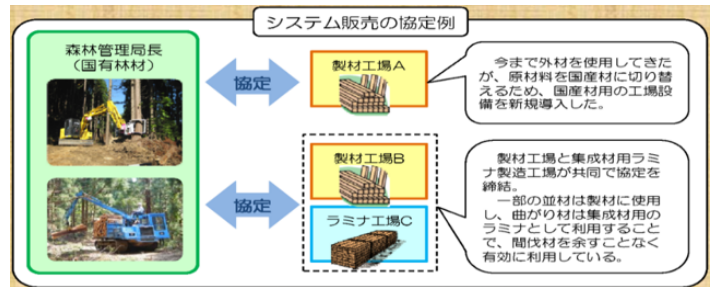
管内の多くの人工林が主伐(収穫)期を迎える中、広島北部森林管理署では、今年度、分収育林・分収造林を含め **66.4千m³** の立木販売を計画しています。また、素材(丸太)生産は4箇所の国有林で **13,900m³** の生産量を計画しており、その内の約7.3千m³を委託販売に、残りの6.6千m³を**システム販売**により計画的に販売することとしています。これらの販売情報については、その都度、当署のHPや近畿中国森林管理局のHPでお知らせします。



H30年度の素材生産状況



昨年度の市売りに出材した国有林材



森林計画の体系



江の川上流域の森林計画策定作業を開始

林野庁が管理する国有林野の取扱いは、関係法令に基づき一定期間を計画期間とする様々な森林計画を策定することとなっています。広島北部森林管理署で管理する国有林野のうち三次市、安芸高田市、庄原市に所在(江の川上流森林計画区)する国有林野の今後の取扱いを決める「**地域管理経営計画**」及び「**国有林野施業実施計画**」の現地調査に5月着手しました。それぞれの計画とも、令和2.4.1を始期とする令和7.3.31までの5カ年計画で、5年ごとに策定しています。地域管理経営計画では、国有林の機能類型に応じた管理経営に関する事項、森林・林業の再生に向けた貢献に関する事項などを、国有林野施業実施計画では、具体的な各種事業の計画箇所・数量などに関する事項について策定していくこととしています。



103林班で今後の施業を検討



107林班での検討状況

保護林モニタリング調査結果ができました

広島北部森林管理署では、管内にあるアベマキなど希少な樹種の保護を目的とした「**釜ヶ峰アベマキ・アカマツ遺伝資源希少個体群保護林**」を設定しており、近年の生物多様性の保全など、森林に対する住民の多様化する要請を踏まえ、5年ごとに設定後の保護林の生育状況等を把握することを目的としたモニタリング調査を行っています。昨年度、平成25年度に続き当該保護林でのモニタリング調査を行い、調査結果を踏まえた今後の取扱いについて検討しました。その結果、アベマキ、アカマツは順調に生育していることが確認でき、引き続き、アベマキ等の生育環境の把握、シカによる食害状況の早期発見に努めるなど、適切な対策を講じていきます。



保護林全景(入口)



林床の植生状況(プロット1)



林冠の状況(プロット2)



保護林内の様子 (H30.4.27撮影森林教室)



広島北部署庁舎

近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
TEL:0824-62-2155 / FAX:0824-62-2156
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19



国民の森林・国有林